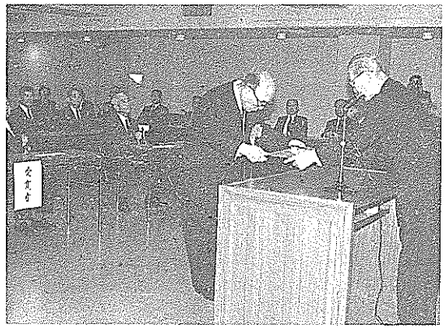
第20回
市民賞

岡崎素輪さんら六人に

文化の日に表彰式



市政発展に功績のあった個人や団体に贈られる「市民賞」に、二十回目の今年は個人六人が選ばれ、十一月三日の文化の日に市役所で表彰式が行われました。

選考委員会（吉村雅男会長、委員十人）は十月十四日に開かれ、市民から推薦のあった岡崎素輪さんら六人の表彰を満場一致で決定。

表彰式には受賞者や推薦者、選考委員など二十人余りが出席しました。まず、小笠原市長が「今後も健康に気をつけ、南国市をすばらしい郷里にしていただきたい」とあいさつ、受賞者に表彰状と記念品が贈られました。それを受けて受賞者を代表して岡崎素輪さんが「この日を契機にますますよき市民となり、地域、社会のために努力していきたい」と謝辞を述べました。

今年の受賞者は次の皆さんです。

《社会福祉》高木義博さん（六十五歳・大埇）

眼科医師として永年市民の医療と健康管理、健康教育に尽くした。二十六年間市内唯一の眼科医として地域住民の診察に当たるとともに市内小、中学校の委託医として学校保健に尽力、南国市以東の町村の眼科検診にも積極的に協力した。昭和四十九年の南国市文化推進協議会結成と同時に吟道部理事、華道部世話役として市の文化推進に努力してきた。

黒岩顔美さん（七十四歳・稲生）

現在、稲生地区社会福祉協議会長として活躍中。また、民生委員や保護司として社会奉仕面で多大の功績を上げた。理容師として病人や老齢者に出張サービスも実施。民生児童委員や稲生村議会議員などを歴任し、衛生委員として赤痢、チフスの壊滅にも努力した。

《教育》岡崎素輪さん（七十八歳・八京）

教育者として市の小学校教育に力を注ぎ、各校の校長を歴任。特に市の書道、音楽教育の向上は氏の実績によるところが大きい。白木谷小学校の校歌をはじめ、多くの名曲を作曲した。また、豊富な経験や技能を駆使し、市の生涯教育に多大の功績を上げた。

《社会教育》福岡弘幸さん（七十二歳・東崎）

戦後の少年教育の開拓、推進者として大きな業績を上げ、教育振興に寄与。昭和三十八年から十市小学校で全校子ども会を設置。その結果市内各地区に子ども会が作られ、南国市子ども会連合会の基礎が作られた。また、「オレンジツアー南国少年のバス」を企画、実地指導を行い、中学生の生活指導とジュニアリーダークラブの育成に大きく寄与。高知県子ども会連合会の発展に対する功績も大きいものがある。

福祉教員制度確立にも力を尽くし、福祉教員第一号として県下の同和教育の基礎を築き、南国市同和対策審議会委員などとしても活躍。

《社会福祉》竹島寅吉さん（七十四歳・物部）

四十一年間教職にあり、退職後は日章地区公民館運営審議委員や下唐内老人クラブ会長として、県下の教育振興に大きな功績を残した。また、今日のゲートボールの驚異的な発展は氏の指導に負うところが大きい。県下ゲートボール協会の南国、土長支部長として活躍中。

《教育文化》松木美得子さん（八十三歳・大埇）

現在、土大埇地区老人クラブ会長として、また南国市高齢者教室運営委員として社会福祉、ボランティア活動に専念している。小学校教師として三十三年間奉職。退職後は華道、茶道の教室を開き、広く地域の主婦や青少年の情操教育に尽力。昭和四十九年の南国市文化推進協議会結成と同時に吟道部理事、華道部世話役として市の文化推進に努力してきた。

1年間の活動の成果を発表

第15回南国市文化祭

恒例の文化祭が十月二十三日から三十日まで開かれ、大勢の市民が訪れて文化の秋を満喫していました。

これは、文化推進協議会の主催で市内の公民館活動のグループなどの一年間の活動の集大成として毎年開かれているもので、今年で十五回目。今年も美術部門に書道や盆石など約三百点、芸能部門に約二十組が参加しました。

展示物を鑑賞する市民

初日の二十三日には開会式を行い、中央教育事務所の岡本敏之氏が「文化においてされて走る」と題して講演。続いて芸能部門のトップを切って岡豊高校の吹奏楽部の皆さんが、交響曲「新世界より」やおなじみのタンゴなどを演奏、会場もいっしょになったカラオケコーナーも設けるなど、楽しい音楽を聴かせていました。

交流の輪を広げる

母子・父子・寡婦家庭運動会

母子・父子・寡婦家庭の皆さんの親ぼくと、子供たちの成長を願って、南国市母子寡婦福祉連合会（久万富士会長）の主催で十一月三日、大篠小運動場に約百人が集まり、運動会が開かれました。

この日行われたのは竹馬リレーやあやおりなど十種目の競技とダンス。大人も子供も楽しめるものばかりで、始めから終わりまで歓声と笑顔が絶えませんでした。

親子仲よくみかんの皮むき

土佐長岡郡、南国市身体障害者大運動会

昭和六十三年度土佐長岡郡、南国市身体障害者大運動会が、十月二十日に市民体育館で開かれ、七チーム二百三十人が参加しました。

これは、運動競技を通じて体力の増強などを図り、障害者の交流を深めようと、土佐長岡郡・南国市身体障害者連絡協議会などが主催して毎年開いているもので今年で七回目。本市では四年ぶりに開かれました。

園児が元気にリズム遊技

開会式では、県身体障害者連合会長のあいさつや来賓の祝辞の後、南国市Aチームの田中隆夫さんが選手宣誓を行い、競技に移りました。

参加者は輪投げやはしけん関所破り、ゲートボールを使った急がば回れなどにさわやかな汗を流していました。

また、競技の合間には大篠保育所の年長組の児童四十四人が虫や動物の動きをまねたリズム遊技を繰り広げました。その元気いっぱいのしぐさに参加者は盛んに拍手を送っていました。

結果は次のとおりです。

優勝＝大川村・本川村チーム▼
準優勝＝土佐山村・鏡村チーム▼
三位＝南国市Bチーム